

# 沿岸・近海漁業資源調査Ⅱ

## (漁場環境調査：魚礁調査)

梶島光次郎

### 【目 的】

海底の状況（地形・底質）、人工魚礁の設置状況等を把握することにより、漁場の効率的利用を図る。

### 【方 法】

指宿市岩本沖海域，いちき串木野市沖海域，指宿市山川町沖海域，薩摩川内市沖海域，南さつま市沖海域において，水中テレビロボット（ROV）を用いて人工魚礁の設置状況（配置，積み重ね状況，洗掘，埋没，付着生物，魚の蝸集状況）等を調査した。

### 【結 果】

#### 1. 指宿市岩本沖海域（平成20年5月22日，1箇所）

魚礁に目立った崩壊・埋没は見られなかった。生物量は豊富だった。魚礁周辺部でマアジの群れやオオモンハタ等を確認した。礁体にはウミカラマツ類等の付着物がわずかに見られた。

#### 2. いちき串木野市沖海域（平成20年10月9日，2箇所）

魚礁に目立った崩壊・埋没は見られなかった。生物量は少なかった。魚礁周辺部でネンブツダイの群れやホンソメワケベラ，オオモンハタ等を確認した。礁体にはウミシダやシロガヤ，海藻等の付着が見られた。

#### 3. 指宿市山川町沖海域（平成20年11月26日，2箇所）

魚礁に目立った崩壊・埋没は見られなかった。生物量は豊富だった。魚礁周辺部でアカオビハナダイの群れやイラ，イシダイ，コロダイ，オオモンハタ等を確認した。礁体にはウミトサカ目等の付着生物が多く見られた。

#### 4. 薩摩川内市沖海域（平成20年12月2日，1箇所）

浮魚礁に目立った損傷等は見られなかった。浮魚礁周辺の水深40～60m，60～80m，20～30mにてヨコワの群れを確認した。その他水深55m付近と水面にてシイラの群れを確認した。礁体や係留索近辺では，イスズミの群れ等を確認した。

#### 5. 南さつま市沖海域（平成20年12月2日，2箇所）

魚礁に目立った崩壊・埋没は見られなかった。生物量は豊富だった。魚礁周辺部でコロダイやニザダイ，ホウライヒメジ，マアジ，ネンブツダイ等の群れを確認した。礁体にはウミトサカ目やヤギ目等の付着生物が多く見られた。

6. 指宿市岩本沖海域 (平成21年3月26日, 2箇所)

魚礁に目立った崩壊・埋没は見られなかった。生物量は豊富だった。魚礁周辺部でコロダイの群れやイシダイ, オオモンハタ等を確認した。礁体にはウミカラムツ類等の付着物がわずかに見られた。